

<p>国鉄改革完遂！ 当たり前の労働運動を 前進させよう！ JR 東海労に 結集しよう！</p>	<p>J R 東海労</p>	<p>静岡</p>	<p>J R 東海労働組合静岡地方本部 〒420-0851 静岡市葵区黒金町 68 番地 N T T 054-284-3608 発行責任者 半場弘恭 2022 年 1 月 31 日 No.12</p>
--	-----------------------------	-----------	--

コロナ感染症の影響で今後も輸送量の減！！

本当にリニア建設は「大丈夫」なのか！

1 月 23 日(日)13 時 55 分から朝日テレビで、リニア「池上彰が直撃！リニア新幹線と日本の未来」と題する番組が報道されました。この中で、「JR 東海は独自で建設ができるのか」と池上氏が質問をしたのに対し、金子社長は、史上最高益を上げた 2020 年 3 月期の収入の約 1 兆 4,600 億円に対して「年度収入が 80% ならば 3,000 億円を当てることができる。90% の場合 4,000 億円を当てることができる。(営業費用を約 8,000 億見込)コスト削減もしていくので**独自の建設は大丈夫ということです**」と答えました。

今年度の収入は、年末年始の輸送量は伸びたもののオミクロン株を原因とする感染拡大で輸送量が激減し、年度予想の営業収入 7,950 億円を下回る可能性があります。各企業は、リモートワークや在宅勤務の取り入れ等により、今後輸送量がピーク時までに戻ることは難しく、さらなる効率化、要員削減や人件費の削減が予想されます。静岡支社内では、清水・富士・西富士宮の各駅の勤務種別を変え、各駅 2 名の計 6 名の要員削減を今年 3 月から実施の予定です。**人件費は、今年度は 100 億円削減を見込んでいます。そのため、労働強化と賃金削減が社員に重くのしかかってきます。**期末手当の、3 期連続 2.2 ヶ月支給は生活に大きな痛手となっています。またベアも昨年はありませんでした。社員を苦しめ、南アルプスに穴を開けてまで走らせるリニア中央新幹線建設には反対です。ペイ出来ないリニアは、新幹線と在来線の収入で補填していくこととなり、社員の負担はますます増えていきます。

いよいよ**春闘**スタートです。

ユニオン組合員の皆さん、組合が守ってくれるという幻想は

捨て、JR 東海労で声を上げ闘おうではありませんか！